

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2017年6月28日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: エベレットコミュニティカレッジ 現地言語: Everett Community College
留学期間	2016年9月～2017年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年6月29日
明治大学卒業予定年	2019年3月

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	9,500	1,068,655 円	
宿舍費	8,000	900,016 円	
食費	2,000	225,042 円	
渡航旅費	1,600	180,067 円	
その他	1,000	112,575 円	
<b>合計</b>	<b>22,100</b>	<b>2,486,355 円</b>	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
	大学の寮
2)部屋の形態	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 )
3)住居を探した方法:	
	大学ホームページから
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
	個室のため気兼ねなく使用できた。
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
	相談窓口あり。そこで相談をした。
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
	していない。
4)パソコン, 携帯電話, インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので, 寮で使用できない時はカフェに行った。)	
	寮ではインターネット環境が整っており、問題なく携帯やPCが使用できた。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また, クレジットカードも併用していた。)	
	現地に銀行口座を開設し, そこに日本の親から送金してもらった。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
	なし。
7)授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った, 渡航前に留学先大学から指示があった, 渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	
	大学のホームページから送金。
卒業後の進路について	
留学を通して生じた, 今後の進路についての考えについて教えてください。	
	海外の会社に就職したい。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
28 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 13単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Business 101		ビジネス101	
科目設置学部・研究科	business		
履修期間	2017 春学期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	Chad R		
授業内容	アメリカでのビジネス形態の説明		
試験・課題など	期末テストあり。2週に一度のビジネス記事のまとめ課題あり。		
感想を自由記入	アメリカのビジネスの概要を知ることができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
College 101		カレッジ101	
科目設置学部・研究科	教養科目		
履修期間	2016 秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	Cahan C		
授業内容	大学生活で成功を収める方法		
試験・課題など	期末レポート		
感想を自由記入	大学での過ごし方を学ぶことができた。初期に受ける必要あり。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
AEP 098		英語098	
科目設置学部・研究科	言語学科		
履修期間	2016 秋学期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が4回		

担当教授	Lijyao
授業内容	essay の書き方
試験・課題など	中間と期末のテスト
感想を自由記入	大学レポートの正しい書き方を学んだ。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English 101	英語101
科目設置学部・研究科	言語
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	Cobi Ceslar
授業内容	英語のエッセイの書き方と自由に決めたトピックの討論
試験・課題など	中間と期末エッセイ
感想を自由記入	大学レベルの文章の書き方を学んだ。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
DEVED104	コミュニケーション104
科目設置学部・研究科	コミュニケーション
履修期間	2017 春学期
単位数	5
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が2回
担当教授	Debi
授業内容	詩の読解、文章読解
試験・課題など	教科書の文章を読む
感想を自由記入	大学のディスカッションの練習ができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Math141	数学141
科目設置学部・研究科	数学
履修期間	2017 春学期
単位数	5
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が4回
担当教授	Michael

授業内容	計算、グラフ読解
試験・課題など	4回のテストと4回のミニテスト
感想を自由記入	比較的簡単な内容から学び、その後徐々に難しくなる。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月～3月	語学勉強
4月～7月	留学情報の収集
8月～9月	留学先の決定
10月～12月	留学書類の提出
2016年 1月～3月	留学費用の工面
4月～7月	VISA 申請手続き
8月～9月	留学先に渡航
10月～12月	秋学期。12月末に期末試験
2017年 1月～3月	冬学期。3月末に期末試験
4月～7月	春学期。6月末に期末試験
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	中学生になり英語を学び始めてから、海外文化に興味を持つようになりました。ハリウッド映画を見始め、洋楽を聴くようになり、ますますアメリカ文化に対するあこがれや興味が強くなりました。そこから次第に海外留学に興味を持つようになりました。日本のメディアをみても、英語は頻繁に目にします。明治大学を選んだ理由のひとつも留学プログラムが多くあることでした。そして、大学在学中に海外留学をしたいと決意し、今回のこのアカデミック留学に応募しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	私が一番問題だと考えたのは、リスニング力が圧倒的に不足していたことでした。留学当初はネイティブスピーカーの言っていることが聞き取れず、何回も聞き直してしまい、会話がうまく成立しないことがたくさんありました。そのせいで授業中の課題すら聞きとれないということが多々あり苦労しました。事前にネイティブスピーカーの発音やスピードに慣れておく必要があると感じました。留学前にネイティブスピーカーの友人をつくることができれば、練習を積むことができるのではないのでしょうか。
この留学先を選んだ理由	まず第一に、アカデミック留学先の中で最も生活費用が安かったことが大きな理由でした。また、この大学には日本文化の研究機関があったことも大きな理由のひとつでした。日本人という立場を生かし、日本文化や日本語に興味のある友人を作り、大学内において自分が役立つ人材になれるという考えもありました。やはり、半年や1年間という限られた中で環境になじみ、現地の友人をつくるには、自分の特徴を考え、それを最大限利用する食欲が必要だと考えました。
大学・学生の雰囲気	大学は、シアトルという大都市から車で1時間ほど離れた田舎にあり、周辺に飲食店やショッピングモールはありません。エベレットのダウンタウンへは、バスで15分ほどかかり、そこには飲食店やスーパーマーケットがあり、生活必需品はそろいます。留学生に関していえば、アジアからの留学生が多く見受けられ、ヨーロッパ圏からの留学生に会うことはありません。現地の学生は、多くがバイトを掛け持ちしていて、金銭的な余裕がない学生も見受けられました。
寮の雰囲気	寮は、大学から徒歩5分以内の場所にありました。一人部屋のため、プライベートな空間を確保することができます。しかし、天井と床が薄く、上の階と下の階から騒音がすることもしばしばありました。個人的には上の階の住人の騒音に悩まされ、ほかの部屋へ移動させてもらったことがありました。また、寮では週1回程度イベントが催され、そこで同じ寮に住む学生と交流することができました。また、TAと呼ばれる寮生活のアシスタントをする学生がエントランスにいて、彼らに助けられることも多くありました。
交友関係	留学当初は、英語での会話に慣れていなかったため、ネイティブスピーカーとの会話についていけず、同じレベルの留学生同士でコミュニティを形成することが多くありました。しかし、2学期目、3学期目と時間がたつにつれ、英会話に抵抗がなくなり、現地の友人が増えていきました。個人的には、Japanese Club というクラブ活動に参加したおかげで、現地学生の友人を多く作ることができました。
困ったこと、大変だったこと	移動手段はバスが主になるため、車で10分ほどの場所に行くのに倍以上の時間がかかることがあり、苦労しました。基本的に現地の学生は車移動のため、友人と遊びに行く際は、現地の学生に運転を頼むことが多くありました。毎回迎えをお願いする形になるため、お礼に食事をごちそうしたり、ガソリン費用を出してあげたりすると、相手ばかりに負担がかかることが避けられません。早めにいざというときに助けてもらえる友人を作ることができれば、観光する際などスムーズに行くと思いました。
学習内容・勉強について	私の専攻はビジネスでした。授業のなかで、教授がアメリカでは有名であろう飲食店や企業の例をあげ、説明をすることが多々あるため、アメリカでよく知られている企業名は事前に知っておく必要があると思いました。また、課題が多く出たため、スケジュール管理をしっかりとしないと、おいて行かれることもありました。
課題・試験について	課題量は授業によって様々です。最後の学期では、課題量の多いクラスを2つ取った結果、自分の許容量を超えてしまい、十分に学習がおよばなかったことがありました。いつどの授業を取るかを考え、履修を決めることが重要でした。また、試験は頻繁にあり、数学では、毎週その週の範囲のテストがありました。毎日の復習が大事でした。学期の初めにスケジュールを決め、それに沿って学習を進める必要があります。

大学外の活動について	Bridge というクラブ活動に参加しました。そこでは、近隣大学の学生と共同で BBQ や Beach 散策などの活動に参加しました。おかげで、他大の学生と知り合うことができました。また、春季休暇の際、シアトルで開かれた SAKURA-CON と呼ばれる日本文化の祭典があり、そこで日本文化に興味のある人と交流することができました。大変大きなイベントのため、多くの人がアメリカ各地から来ていました。
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと、アドバイス等	現地には、日本人学生も多くいました。やはり、母語を使って交流できるため、同じ国出身者でコミュニティを形成していることが多かったです。同じ留学生として、つらさを共有できるという点で、居心地がいいコミュニティだと思います。しかし、そこを抜け出して、現地学生との交流にチャレンジしてこそ、留学の意味があると思います。最初は、拒絶されることも多く、つらいです。しかし、そこを乗り越え精神的にタフになることが大切なことだと気がつきました。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	Conversation club 活動	友人とシアトル観光	睡眠
	図書館での自習	図書館で自習	図書館で自習	図書館で自習			
午後	食堂で友人と食事	食堂で友人と食事	食堂で友人と食事	食堂で友人と食事	エベレットダウンタウンで友人と食事	シアトル 観光	近くのカフェで勉強
	料理		料理	Japanese Club 活動	食材の買い出し		
夕刻	ジムで運動	料理	ジムで運動	料理			
夜	ラウンジで友人と交流						次の週の予定確認